

第3節 〈特集〉国際比較調査に見る日本の高齢者の生活と意識の特徴

内閣府は、日本の高齢者と諸外国の高齢者の生活や意識を把握するため、昭和55年度より5年ごとに「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」を実施しており、令和7年度で第10回目となる。

「令和7年度高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」（以下この節において「今回調査」という。）では、日本、アメリカ、ドイツ、スウェーデンの60歳以上の男女を対象に、家庭生活、健康や医療・福祉サービス、経済的な暮らし、就労、住宅や生活環境、友人・知人との交流、社会活動、情報収集、生きがいや生活満足度及び今後の高齢社会への対応について調査を行った。なお、今回調査は60歳以上を対象としているが、本特集では65歳以上の高齢者層に焦点を当て、特徴的な傾向を中心にまとめている。また、分析においては統計的に有意な傾向をまとめている。

「令和7年度高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」

- ・調査対象国：日本、アメリカ、ドイツ、スウェーデン
- ・調査対象者：各国の60歳以上の男女（施設入所者は除く）
- ・調査時期：令和7年9月中旬～11月上旬
- ・有効回答数：日本1,524人、アメリカ1,104人、ドイツ1,030人、スウェーデン1,093人
- ※65歳以上については、日本1,267人、アメリカ843人、ドイツ766人、スウェーデン955人

※今回調査は、日本では郵送調査法とオンライン調査法の併用、アメリカではオンライン調査法及び電話調査法の併用、ドイツでは調査員による個別面接聴取法、スウェーデンではオンライン調査法で実施した。

※なお、注釈がない限り、調査における回答は単数回答である。

1 生活満足度・生きがいについて

（1）現在の生活に満足しているか

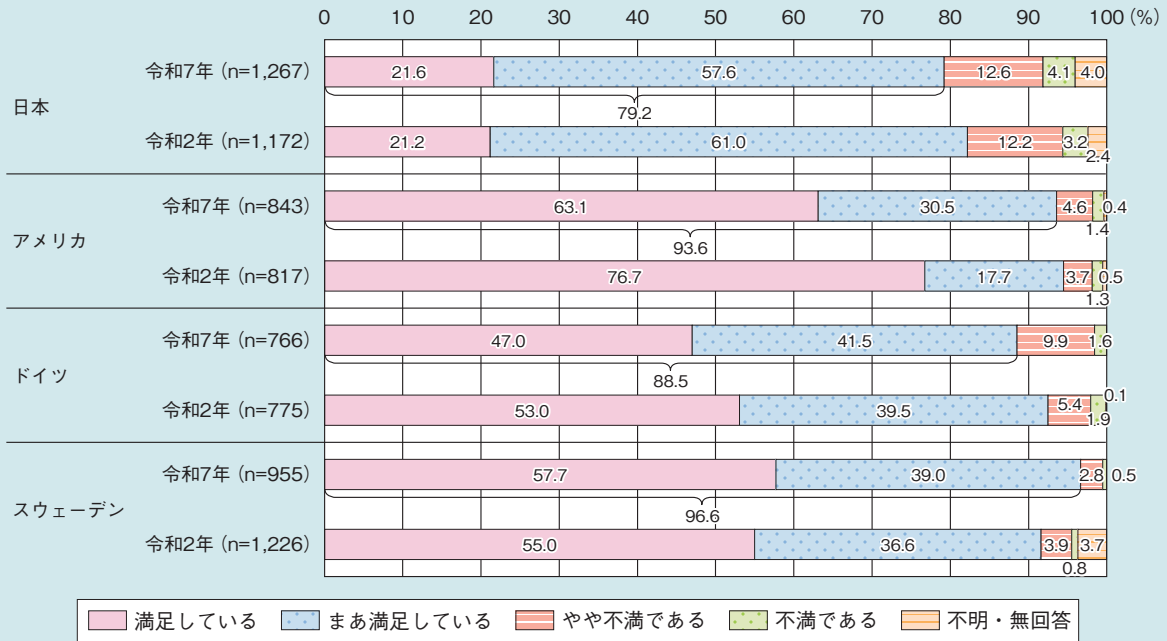
総合的に見て、現在の生活に満足しているか聞いたところ、現在の生活に満足していると回答した割合（「満足している」と「まあ満足している」の計）は、日本79.2%、アメリカ93.6%、ドイツ88.5%、スウェーデン96.6%となっている（図1-3-1）。

（2）どの程度生きがいを感じているか

現在、どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じているか聞いたところ、生きがいを感じていると回答した割合（「大変感じている」と「多少感じている」の計）は、日本64.0%、アメリカ82.2%、ドイツ63.8%、スウェーデン88.0%となっている。全体で見ると、65歳以上の人の6割以上が生きがい（喜びや楽しみ）を感じていると回答している。

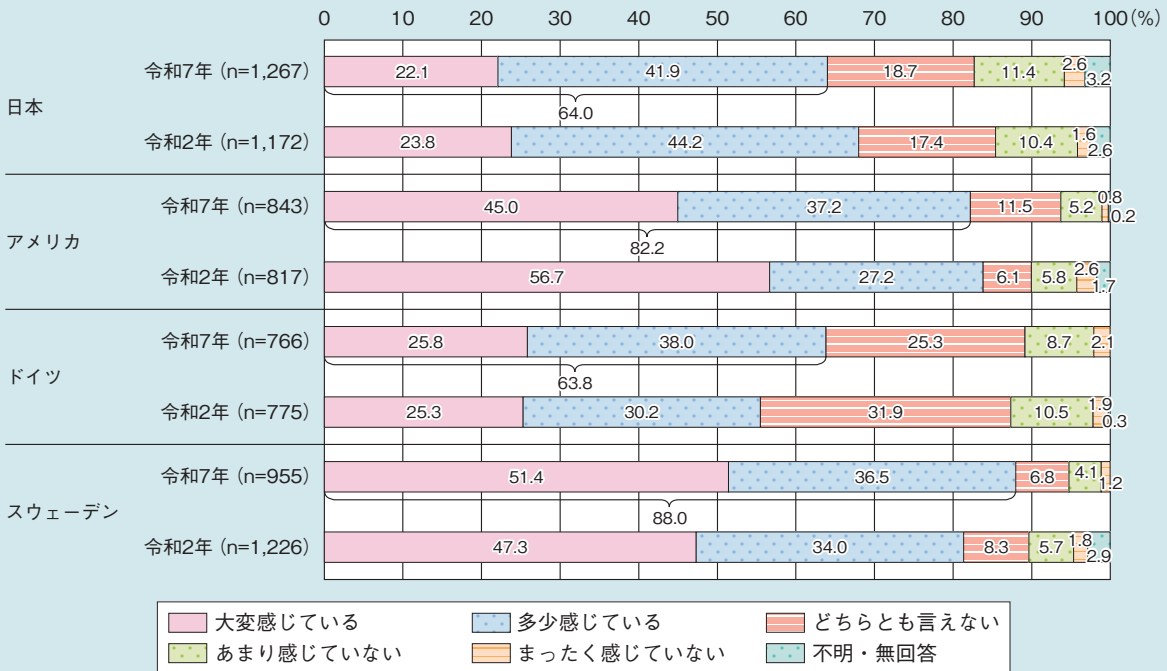
「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査（令和2年度）」（以下この節において「前回調査」という。）と比較すると、日本の割合は減少し、アメリカは横ばい、スウェーデンとドイツは増加している（図1-3-2）。

図1-3-1 現在の生活に満足しているか



資料：内閣府「高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」

図1-3-2 どの程度生きがいを感じているか



資料：内閣府「高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」

(3) 生きがいを感じる時について

生きがい（生きていることの喜びや楽しみを実感すること）を感じるのはどのような時かを聞いたところ、日本、ドイツ、スウェーデンは「子供や孫など家族との団らんの時」、アメリカ

では「友人や知人と雑談している時」と回答した割合がそれぞれ最も高かった。

前回調査と比較すると、ドイツでは「友人や知人と雑談している時」、「収入があった時」と回答した割合が増加している（図1-3-3）。

図1-3-3 生きがいを感じる時

	日本		アメリカ		ドイツ		スウェーデン	
	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年
全体 (n)	1,267	1,172	843	817	766	775	955	1,226
仕事に打ち込んでいる時	17.2	19.6	26.8	44.3	15.4	13.4	9.5	15.3
勉強や教養などに取り組んでいる時	11.7	11.5	38.2	46.3	11.2	13.8	3.1	2.8
趣味やスポーツに熱中している時	41.6	51.1	60.5	73.2	49.5	55.4	44.0	50.1
夫婦団らんの時	28.9	31.5	46.5	49.9	42.2	43.6	54.9	59.4
子供や孫など家族との団らんの時	53.6	55.8	68.1	77.2	72.6	71.9	80.4	77.7
友人や知人と食事（第9回）、雑談している時（第10回）	41.8	45.8	73.9	80.8	68.8	62.1	77.8	66.1
テレビを見たり、ラジオを聞いている時	42.3	49.1	48.8	59.6	45.6	46.2	48.7	62.0
社会奉仕や地域活動をしている時	8.0	8.7	29.9	52.8	17.4	15.5	45.8	32.3
旅行に行っている時	31.7	33.9	51.4	60.0	50.1	49.5	40.4	46.6
他人から感謝された時	21.2	27.5	61.6	81.9	45.3	43.0	56.2	60.8
収入があった時	19.0	20.6	20.2	39.4	27.9	22.1	13.8	17.8
おいしい物を食べている時	47.6	52.4	59.0	76.0	64.5	60.3	62.2	60.7
若い世代と交流している時	9.6	9.2	34.0	68.9	23.4	24.9	32.3	33.9
おしゃれをする時	14.6	16.6	23.3	47.6	28.9	25.9	17.0	25.7
犬や猫などのペットと過ごす時	11.6	13.8	38.1	48.3	18.0	15.7	18.3	20.8
その他	2.0	2.4	2.4	6.1	2.3	2.1	3.8	3.9
わからない	4.5	2.5	1.4	1.3	0.1	1.3	1.8	1.8
不明・無回答	3.2	1.9	0.4	-	-	0.4	-	1.6

資料：内閣府「高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」

（注1）「趣味やスポーツに熱中している時」の前回調査における数値は「趣味に熱中している時」と「スポーツに熱中している時」の選択肢を合算している。

（注2）今回調査「友人や知人と雑談している時」と前回調査「友人や知人と食事、雑談している時」の選択肢で比較している。

（注3）複数回答

2 就労について

(1) 収入を伴う仕事をしたいと思うか

今後収入を伴う仕事をしたいと思うか（今後も収入を伴う仕事を続けたいと思うか）を聞いたところ、日本を除く国の7割以上が「収入を伴う仕事をしたくない（辞めたい）」と回答している。

一方、「収入を伴う仕事をしたい（続けたい）」と回答した割合は日本39.0%、アメリカ24.3%、ドイツ19.8%、スウェーデン19.1%となっている。

前回調査と比較すると、いずれの国においても「収入を伴う仕事をしたい（続けたい）」と回答した割合が横ばい又は増加している（図1-3-4）。